



冬季のガソリンの取扱いに注意！

冬場の乾燥した季節に当たり、ガソリンスタンドでは静電気による火災の発生が危惧されます。ガソリンの危険性を理解し、安全な取扱方法を再確認しましょう。

ガソリンなどの危険物を取り扱う際には静電気に注意しましょう

空気が乾燥する季節は、静電気が発生しやすくなります。液体の危険物の中でもガソリンのように揮発性の高いものは、静電気の小さい火花でも引火してしまいます。

ガソリンを取り扱う身近な危険物施設はガソリンスタンドです。特に利用者自身が給油をおこなうセルフスタンドでは、給油前に必ず静電気除去シートをタッチしてから給油をおこなきましょう。

セルフスタンドを安全に利用するために

セルフスタンドでは、給油が安全におこなわれるようにいろいろな安全装置付きの機器が設けられているとともに、危険物取扱者の資格を持った従業員が給油を見守っています。

セルフスタンドを利用するドライバーの皆さんも次の「その1」から

セルフスタンドにおける7か条

その1 案内標示に従いながら駐車！エンジンOFF！

矢印などの誘導に従い、白線などで示された場所に停車し、必ずエンジンを停止しましょう。

その2 スタンド内は安全運転！

急発進は危険！
スタンド内は、さまざまな機器や他の車もあり、運転には十分な注意が必要です。急発進、急ハンドルは避けましょう。

その3 静電気除去シートにタッチ！

給油キャップを開ける前に、静電気除去シートに触れ、静電気を除去してから給油を始めましょう。

その4 正しい操作で給油を！

給油口の奥まで差し込み、レバーを確実に握って給油をしましょう。

「その7」に十分注意して安全な給油作業を心がけましょう。

給油方法がよくわからなかったり、不安を感じたりしたときは、近くの従業員や給油設備にあるインターホンを利用して、正しい給油方法の説明を受けてから給油しましょう。

問合せ先 丹羽広域事務組合消防本部 予防課 ☎95-5158

その5 注ぎ足し給油をしないで！

満タンになると、給油は自動的に停止します。吹きこぼれをしないよう注ぎ足しは避けましょう。

その6 給油キャップの置き忘れに注意！

給油口からガソリン等の燃料やその可燃性蒸気が漏れないよう給油キャップは忘れずに締めましょう。

その7 自分で容器にガソリンを

入れないで！

セルフスタンドでは、顧客自らガソリン携行缶にガソリンを入れる行為は禁止されているので、ガソリンスタンドの従業員がおこなう必要があります。ガソリン携行缶に入れて購入する時には、従業員による本人確認（運転免許証の提示など）、ガソリンの使用目的の確認があります。

大口俳句会

蜘蛛の這ふ病の窓辺年流る

前田とし子

冬花火疫病退散心ほぐ

渡辺すみ子

最後まで残る縄とび女子ばかり

安藤 亮子

山茶花の散る花びらに朝日さす

保浦佐代子

居酒屋の自粛の提灯冬ざるる

土川喜一郎

芙蓉句会

運転の若葉マークや冬の朝

大野 正子

寒の暁葬儀の鐘の鳴り告げる

大森恵美子

日溜まりやせがまるるまみかん剥く

田中寿美子

案内図の朽ちたる駅や草紅葉

平本のり子

百日草の実生の花や十二月

土川 照恵

長いほど長生きするとすする麵

吉田 雄亮

たし算も引き算もある老いの日日

高橋あや子

コロナ禍に見舞う母からもらう笑み

安藤 久子

同居して近くて遠い嫁姑

日比野文子

宜しくねスマホで明けるお正月

天野 信和

大口川柳クラブ